



平成29年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月5日

上場会社名 イーサポートリンク株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2493 URL <http://www.e-supportlink.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 信介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 仲村 淳 TEL 03-5979-0666
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日 配当支払開始予定日 平成30年2月28日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年11月期第3四半期の連結業績（平成28年12月1日～平成29年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第3四半期	3,462	2.7	120	△65.8	128	△62.8	66	△64.1
28年11月期第3四半期	3,371	△1.2	352	△23.3	344	△29.3	183	△17.3

(注) 包括利益 29年11月期第3四半期 65百万円 (△64.4%) 28年11月期第3四半期 182百万円 (△19.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第3四半期	14.93	—
28年11月期第3四半期	41.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年11月期第3四半期	5,269	3,845	73.0
28年11月期	5,405	3,799	70.3

(参考) 自己資本 29年11月期第3四半期 3,845百万円 28年11月期 3,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年11月期	—	0.00	—	—	—
29年11月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 平成29年11月期の連結業績予想（平成28年12月1日～平成29年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,609	3.4	195	△48.5	204	△44.9	99	△66.6	22.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細については、四半期決算短信（添付資料）8ページ「（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年11月期3Q	4,424,800株	28年11月期	4,424,800株
② 期末自己株式数	29年11月期3Q	149株	28年11月期	149株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年11月期3Q	4,424,651株	28年11月期3Q	4,424,651株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は緩やかに持ち直しており、また、設備投資についても持ち直しております。雇用情勢も改善しており、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で、株式市場については、北朝鮮による地政学リスクや米トランプ政権の混迷、為替相場の影響などにより、先行き不透明な状況が懸念されます。

生鮮青果物流通業界では、主要クライアント企業のメイン商材であるバナナの輸入量は、前年をやや上回る水準で推移しております。小売業の店舗調整後の食料品販売額は、前年同期をやや下回って推移し、情報サービス業界では、IT関連投資が前年を上回る水準で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、効率的な営業活動を実施するとともに、生鮮MDシステムの導入拡大、既存事業の生産性向上、将来への投資活動に努めてまいりました。

業績につきましては、生鮮MDシステムの取り扱いデータ量の伸長や、バナナ等の業務受託量が回復してきたこと等により、売上高は前年同期を上回る結果となりました。損益面では、イーサポートリンクシステムVer.2の減価償却費の増加等により、減益となりました。

以上の結果、売上高は34億62百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は1億20百万円（同65.8%減）、経常利益は1億28百万円（同62.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は66百万円（同64.1%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(システム事業)

輸入青果物サプライチェーン向けに提供するイーサポートリンクシステムにつきましては、前期に本稼働したVer.2の安定稼働に努めてまいりました。Ver.2はクラウド化されたシステムとしてセキュリティ機能を強化し、インターネット環境があれば、時間と場所を選ばず利用が可能になりました。当社はこのシステムを輸入青果物のみでなく、国産青果物のサプライチェーン構築のインフラシステムとしてもサービス提供を始め、国内の農業生産法人への導入を進めております。大手量販店デマンドチェーン向けにサービス提供する生鮮MDシステムにつきましては、農産、水産、畜産カテゴリーの商品調達のみでなく、他カテゴリーの商品へ展開しており、取扱いデータ件数は順調に伸長しております。

以上の結果、売上高は19億50百万円（前年同期比3.2%増）、セグメント利益は7億96百万円（同11.1%減）となりました。

(業務受託事業)

業務受託量の減少に伴い、輸入青果物サプライチェーンにおける業務の見直し及び合理化を実施してまいりました。定型業務の自動化比率を高め、コスト削減と品質向上を図り、生産性の向上を進めております。また、併せて組織の機動力を高め、全国の拠点運用も含めた検討を実施しております。

以上の結果、売上高は12億1百万円（前年同期比9.0%減）、セグメント利益は3億84百万円（同13.6%減）となりました。

(農産物販売事業)

りんご販売につきましては、安定的な入荷数量の確保と販売先の拡大に努めてまいりました。また、出資により子会社化した有機農産物販売会社につきましては、経営管理体制の強化および展示会などのイベントへの積極的な参加による販促強化を図ってまいりました。

以上の結果、売上高は3億10百万円（前年同期比93.3%増）、セグメント損失は37百万円（前年同期はセグメント利益7百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末と比べて1億36百万円減少し、52億69百万円（前連結会計年度末比2.5%減）となりました。

内訳としては、流動資産が31億60百万円（同0.1%増）、固定資産が21億8百万円（同6.2%減）、繰延資産が0百万円（同54.2%減）となりました。

流動資産の主な増加要因は、現金及び預金が2億74百万円増加したことによるものです。

固定資産の主な減少要因は、ソフトウェアが1億1百万円減少したことによるものです。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末と比べて1億81百万円減少し、14億23百万円（同11.3%減）となりました。

内訳としては、流動負債が7億75百万円（同12.6%減）、固定負債が6億47百万円（同9.7%減）となりました。

流動負債の主な減少要因は、短期借入金が82百万円減少したことによるものです。

固定負債の主な減少要因は、社債が40百万円減少したことによるものです。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べて45百万円増加し、38億45百万円（同1.2%増）となりました。

この結果、自己資本比率は73.0%となりました。

その主な増加要因は、利益剰余金について親会社株主に帰属する四半期純利益を66百万円計上した一方、配当により22百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当初の予想を上回る見通しであることから、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成29年10月5日）公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,239,303	2,514,067
売掛金	407,514	383,765
有価証券	199,994	99,996
商品及び製品	1,391	1,305
仕掛品	28,872	7,964
原材料及び貯蔵品	9,288	7,147
その他	270,078	146,298
貸倒引当金	△508	△203
流動資産合計	3,155,935	3,160,341
固定資産		
有形固定資産	487,792	427,932
無形固定資産		
のれん	-	59,198
ソフトウェア	1,110,528	1,009,263
ソフトウェア仮勘定	208,738	172,683
無形固定資産合計	1,319,266	1,241,144
投資その他の資産		
その他	467,301	463,052
貸倒引当金	△26,537	△24,003
投資その他の資産合計	440,764	439,048
固定資産合計	2,247,823	2,108,126
繰延資産	1,490	682
資産合計	5,405,249	5,269,150
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,829	37,694
短期借入金	200,000	118,000
1年内償還予定の社債	60,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	39,992	59,066
未払法人税等	-	37,968
賞与引当金	-	62,126
資産除去債務	-	1,298
その他	578,121	409,472
流動負債合計	887,942	775,627
固定負債		
社債	40,000	-
長期借入金	28,368	40,561
退職給付に係る負債	413,468	417,225
資産除去債務	42,586	41,720
その他	192,927	148,252
固定負債合計	717,349	647,759
負債合計	1,605,291	1,423,386

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,721,514	2,721,514
資本剰余金	620,570	618,777
利益剰余金	479,323	522,617
自己株式	△375	△375
株主資本合計	3,821,032	3,862,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,321	3,687
退職給付に係る調整累計額	△22,395	△20,457
その他の包括利益累計額合計	△21,074	△16,770
純資産合計	3,799,958	3,845,763
負債純資産合計	5,405,249	5,269,150

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)
売上高	3,371,306	3,462,550
売上原価	1,648,212	1,928,279
売上総利益	1,723,094	1,534,271
販売費及び一般管理費	1,370,208	1,413,615
営業利益	352,885	120,655
営業外収益		
受取利息	546	148
受取配当金	496	496
投資事業組合運用益	449	10,705
その他	2,344	4,083
営業外収益合計	3,836	15,434
営業外費用		
支払利息	9,796	6,464
その他	2,511	1,616
営業外費用合計	12,307	8,081
経常利益	344,414	128,008
特別利益		
段階取得に係る差益	—	6,971
特別利益合計	—	6,971
特別損失		
リース解約損	—	376
投資有価証券評価損	245	—
その他	431	87
特別損失合計	676	463
税金等調整前四半期純利益	343,738	134,516
法人税等	159,870	73,806
四半期純利益	183,867	60,709
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△5,333
親会社株主に帰属する四半期純利益	183,867	66,043

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年12月1日 至 平成28年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年12月1日 至 平成29年8月31日)
四半期純利益	183,867	60,709
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,616	2,366
退職給付に係る調整額	1,320	1,937
その他の包括利益合計	△1,296	4,304
四半期包括利益	182,571	65,013
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	182,571	70,347
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△5,333

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年12月1日至平成28年8月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年12月1日至平成29年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年2月22日 定時株主総会	普通株式	22,123	5.00	平成28年 11月30日	平成29年 2月23日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、重要な子会社の異動には該当していませんが、第2四半期連結会計期間において、株式会社シェアガーデンホールディングスの株式を追加取得したことにより、同社及びその子会社の株式会社オーガニックパートナーズを連結子会社としました。

また、重要な子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間まで連結子会社であった株式会社農業支援を重要性の観点により、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年12月1日至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム 事業	業務受託 事業	農産物販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,889,680	1,321,020	160,605	3,371,306	-	3,371,306
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,575	3,616	61,957	68,150	△68,150	-
計	1,892,255	1,324,637	222,563	3,439,456	△68,150	3,371,306
セグメント利益	895,666	445,677	7,525	1,348,868	△995,983	352,885

(注) 1 セグメント利益の調整額△995,983千円には、セグメント間取引消去7,334千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,003,318千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年12月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム 事業	業務受託 事業	農産物販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,950,211	1,201,827	310,510	3,462,550	-	3,462,550
セグメント間の内部 売上高又は振替高	450	450	-	900	△900	-
計	1,950,661	1,202,277	310,510	3,463,450	△900	3,462,550
セグメント利益又は損失(△)	796,340	384,874	△37,277	1,143,937	△1,023,281	120,655

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△1,023,281千円には、セグメント間取引消去1,174千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,024,455千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「農産物販売事業」セグメントにおいて、株式会社シェアガーデンホールディングスの株式を追加取得し、同社及びその連結子会社1社を連結の範囲に含めたことにより、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において65,937千円であります。